

## 中間検査チェックシート

建築確認番号	
建築確認年月日	年 月 日
建築場所	つくば市
建築主氏名	
監理者資格	一級・二級・木造建築士 登録第 号
監理者氏名	電話
施工者氏名	電話

### 集団規定(共通)

(つくば市)

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理報告	結 果			
		施 者	監 理 者		一次 判定	判定 月日	二次 判定	判定 月日
敷地の 安全性 (法19条) 市条例等	1. がけ又は擁壁の安全性	/	/	A・B・C		/		/
	2. 敷地の高低差	/	/	A・B・C		/		/
敷地と道路 の関係 (法42条43条) 市条例等	1. 前面道路の幅員	/	/	A・B・C		/		/
	2. 接道長さ	/	/	A・B・C		/		/
	3. 敷地内通路	/	/	A・B・C		/		/
敷地面積 容積率 建ぺい率 (法52条53条)	1. 敷地形状の確認	/	/	A・B・C		/		/
	2. 確認添付図書との照合	/	/	A・B・C		/		/
外壁後退等 (法54条)	1. 建物配置の確認	/	/	A・B・C		/		/
道路斜線等 (法52条56条 58条)	1. 各部分の高さの確認 (立面図等との照合)	/	/	A・B・C		/		/
	2. 緩和規定適用の場合の後退部分の外 構制限及び前面道路との高低差等	/	/	A・B・C		/		/
確認表示板 設置 (法89条)	1. 確認表示板の設置及び記載内容の確 認	/	/	A		/		/
工事現場の 危害防止	政令第136条の2の16～第136条の8 仮囲い、防護ネット等	/	/	A		/		/
その他		/	/	A・B・C		/		/

**太線枠内は記入しないでください**

# 集団規定（共通）チェックシート解説

## 1. 中間検査留意事項

- ・ 工事監理者が、工事着工前に選任され、確認済証に添付された図書（以下「確認添付図書」という。）どおりに施工されているかを確認する。
- ・ 建築確認後に計画変更があった場合、計画変更確認等の手続きはされているか。

## 2. 検査項目の解説

- ・ 擁壁の設置有無及び申請手続きがなされているか確認する。
- ・ 建築基準法第19条について、確認添付図書と整合しているか確認する。
- ・ つくば市建築基準条例第5条について、確認添付図書と整合しているか確認する。
- ・ つくば市建築基準条例第3条、第4条、第8条及び第22条について、確認添付図書と整合しているか確認する。
- ・ 建築基準法施行令第128条、第128条の2及びつくば市建築基準条例第39条、第41条について、確認添付図書と整合しているか確認する。
- ・ つくば市建築基準法等施行細則第20条について、確認添付図書と整合しているか確認する。
- ・ 各部分の高さが立面図等と整合しているか確認する。
- ・ 道路斜線等の緩和を適用している場合は、その条件のとおりか確認する。

以下の建築物については、建築基準法施行令第136条の2の16から第136条の8の規定が適用されるので仮囲い、防護ネット等適切な措置がなされているか確認する。

- ・ 木造で高さが13m若しくは軒の高さが9mを超えるもの
- ・ 木造以外で2以上の階数を有するもの

## (鉄筋コンクリート造)

## (つくば市)

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理報告	結 果			
		施 工 者	監 理 者		一次 判定	判定 月日	二次 判定	判定 月日
全体	工程全体の配筋状況	1. 乱れ、踏荒し、波打ち、たるみの有無	/	/	A・C	/	/	/
	共通	1. 柱、はり、壁及びスラブの位置	/	/	A・C	/	/	/
		2. かぶり厚さの確保	/	/	A・C	/	/	/
		3. 鉄筋の材質	/	/	C	/	/	/
地盤基礎	支持地盤	1. 支持地盤の位置、種類及び地耐力等	/	/	C	/	/	/
	基礎形状	1. 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置及び偏心等	/	/	C	/	/	/
	ベース	1. ベース寸法、主筋の径、本数及び間隔、偏心による補強等	/	/	C	/	/	/
	地中ばり	1. 地中ばりの断面寸法、主筋の径、本数、位置、定着方法及び継手(位置、長さ)、あばら筋の位置、径、間隔及び形状、偏心による補強等	/	/	C	/	/	/
柱	柱主筋	1. 柱の断面寸法、主筋の径、本数及び配置(方向)	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 2段筋の位置(間隔)	/	/	A・C	/	/	/
		3. 柱頭鉄筋の止まり高さ及び主筋の出隅のフック	/	/	A・C	/	/	/
	継手	1. 主筋の継手位置、長さ、主筋出隅のフック	/	/	C	/	/	/
	帯筋	1. 帯筋の径、間隔、本数(副帯筋共)及び形状	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強	/	/	A・C	/	/	/
		3. 仕口部分の帯筋の配置	/	/	A・C	/	/	/
		4. 第一帯筋と柱野向束帯筋の位置	/	/	A・C	/	/	/
		5. 帯筋のフック形状、あそび及び結束	/	/	A・C	/	/	/
	はり	はり主筋	1. はりの断面寸法、主筋の径、本数及び位置	/	/	A・B・C	/	/
2. 二段筋の第一段筋との間隔及びスパン内の長さ			/	/	A・C	/	/	/
定着・継手		1. はり主筋の水平呑込み長さ及び定着長さ	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 継手の位置及び長さ	/	/	A・B・C	/	/	/
		3. はり主筋出隅部の継手末端フック	/	/	A・C	/	/	/
ふかし・貫通孔補強		1. ふかし部主筋及び補強筋、貫通孔補強筋又は既製認定品、貫通孔と主筋の離れ、複数の貫通孔の局所集中の禁止	/	/	A・C	/	/	/
あばら筋	1. あばら筋の径、本数(副あばら筋共)及び間隔	/	/	A・B・C	/	/	/	

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理報告	結 果			
		施 工 者	監 理 者		一次判定	判定 月日	二次判定	判定 月日
はり	あばら筋	2. あばら筋のフック形状、あそび及び結束	/	/	A・C	/	/	/
スラブ (庇及び階段を含む)	スラブ筋	1. スラブ厚さ寸法、鉄筋径及び間隔	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 主筋配置(短辺・長辺及びバンド配筋)及び支持条件	/	/	A・C	/	/	/
	定着・ 重ね継手	1. 定着長さ及び方法(はり・隣接スラブ・ 段差スラブ定着)	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 片持スラブの定着及び上端筋の位置 確保	/	/	A・B・C	/	/	/
		3. 継手の位置及び長さ	/	/	A・B・C	/	/	/
	補強筋等	1. 床スラブの出入隅部の補強	/	/	A・C	/	/	/
2. 開口部補強		/	/	A・C	/	/	/	
3. 階段部配筋及び定着・補強筋		/	/	A・B・C	/	/	/	
壁	壁筋	1. 壁厚寸法、鉄筋の径、間隔及び位置	/	/	C	/	/	/
	定着・ 重ね継手	1. 定着長さ及び方法(はり・柱・スラブ・ 壁定着)	/	/	A・B・C	/	/	/
		2. 重ね継手の位置及び長さ	/	/	C	/	/	/
	補強筋等	1. 開口部補強筋	/	/	C	/	/	/
2. スリット(完全・部分)の位置、形状及 び配筋		/	/	C	/	/	/	
その他	設備配管 等	1. 設備配線管の配置	/	/	A・C	/	/	/
	ガス圧接 継手	1. 圧接部の形状等	/	/	A・C	/	/	/
		2. 強度	/	/	C	/	/	/
	特殊鉄筋 継手	1. 認定、評定工法	/	/	A・C	/	/	/
	型枠及び 既存打設 部分状況	1. 型枠及び支柱の締付け並びに清掃 状況	/	/	A・C	/	/	/
		2. 型枠支柱存置期間	/	/	C	/	/	/
		3. コンクリート打設後の養生	/	/	C	/	/	/
4. コンクリートの調合及び圧縮強度		/	/	C	/	/	/	
検査時に必要 な図書等	<input type="checkbox"/> 確認添付図書・設計図書 <input type="checkbox"/> 工事写真(施工状況 試験・検査等) <input type="checkbox"/> その他検査に必要な書類 ・ 杭工事施工結果報告書 ・ コンクリート圧縮強度試験結果報告書 ・ 鉄筋ミルシート ・ 鉄筋ガス圧接継手引張強度試験成績書 ・ その他工事監理者が確認した書類							

太線枠内は記入しないでください

# 鉄筋コンクリート造チェックシート解説

## 1. 検査方法

鉄筋コンクリート工事の中間検査では、構造耐力上主要な部分が、確認済証に添付された図書（以下「確認添付図書」という。）のとおり施工されているかを検査する。

検査の方法は、中間検査申請書に添付されたチェックシートにより、目視で確認することを基本とし、必要に応じてスケール等により測定する。なお、隠蔽部分については写真等により報告を求める。

## 2. 検査項目

### 全体

#### 工程全体の配筋状況

- 各部位の検査に先だって、工程全体の配筋状況を見渡し、鉄筋の乱れ、踏み荒し、波打ち又はたるみ等がなく、整然と配筋されているかを確認する。

#### 共通

- 柱、はり、壁及びスラブの位置を確認する。
- かぶり厚さについては、令第79条による規定で明確な数値が記載されているので、これが確保されているか確認する。
- 鉄筋の材質等は、圧延マークや色別表示及びミルシートで確認する。

### 地盤・基礎

#### 支持地盤

- 確認添付図書により、根切り底の土質、地耐力等を確認する。

#### 基礎形状

- 基礎の種類、配筋状況、型枠組立状況等を確認する。
- 杭工事施工結果報告書等で工法、長さ、径、位置、杭の芯ずれ、杭頭処理や杭頭補強の状況を確認する。

#### ベース

- 寸法、主筋の径、本数、間隔及び偏心による補強等を確認する。また、配筋状況及び型枠組立状況等を確認する。

#### 地中ばり

- 断面寸法、主筋の径、本数、位置、定着方法、継手及びあばら筋の位置、径、間隔、形状並びに偏心による補強等を確認する。また、配筋状況及び型枠組立状況等を確認する。

### 柱

#### 柱主筋

- 柱筋リストで柱の断面寸法、主筋の径、本数及び配置方向等を確認する。特に柱主筋の配置がX、Y方向を取り違えている場合があるので注意する。
- 柱筋リストで2段筋の位置、間隔及び押え補助帯筋の状況を確認する。
- 架構詳細図又は仕様書等で柱頭鉄筋の止まり高さ及び主筋の出隅のフック等を確認する。

#### 継手

- 架構詳細図又は仕様書等で主筋の継手の位置及び重ね継手の長さを確認する。また、柱出隅部分の重ね継手における主筋端部のフックを確認する。

#### 帯筋

- 柱筋リスト、架構詳細図又は仕様書等で帯筋の径、間隔、本数及び形状を確認する。また、柱出隅部分の重ね継手における主筋端部のフックを確認する。
- 架構詳細図又は仕様書等で主筋絞り部・曲折げ部の帯筋補強、仕口部分の帯筋の配置並びに第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置を確認する。
- 仕様書等で帯筋のフック形状を確認する。また、帯筋のあそび及び結束状況に注意する。

## はり

### はり主筋

- ・ はり筋リストではりの断面寸法並びにはり主筋の径、本数及び位置を確認する。
- ・ 二段筋（中吊り筋）の第一段筋との間隔の確保及びスパン内の長さ等を確認する。

### 定着・継手

- ・ はり主筋の水平呑込み長さ及び定着長さ並びに継手の位置及び重ね継手の長さ等を確認する。
- ・ はり主筋出隅部の重ね継手末端部のフックを確認する。

### ふかし・貫通孔補強

- ・ ふかし部主筋及び補強筋等の方法は適正か。貫通孔補強筋が適正であるか。また、既製認定品の場合には認定番号及び仕様等の要件を満たしているか確認する。
- ・ 貫通孔と主筋の離れ及び複数貫通孔の局所集中がないかを確認する。

### あばら筋

- ・ はり筋リストであばら筋の径、本数及び間隔を確認する。また、フック形状、あそび及び結束状況を注意する。

### スラブ（庇及び階段を含む）

### スラブ筋

- ・ スラブ筋リストでスラブ厚さ寸法並びにスラブ鉄筋の径及び間隔等を確認する。
- ・ 主筋と配筋筋の方向が正しいか、又ベンド位置及び支持条件が適正か確認する。

### 定着・重ね継手

- ・ 定着長さ及び方法（はり・隣接スラブ・段差スラブ定着）を確認する。
- ・ 片持スラブの定着長さ及び上端筋の位置が適正に確保されているかを確認する。
- ・ 継手の位置及び重ね継手長さが適正か確認する。

### 補強筋等

- ・ 床スラブの出入隅部、開口部及び階段部の定着及び補強筋が適正か確認する。

### 壁

### 壁筋

- ・ 壁筋リストで壁厚寸法並びに壁筋の径、間隔及び位置等を確認する。

### 定着・重ね継手

- ・ 定着長さ及び方法（はり・柱・スラブ・隣接壁定着）を確認する。
- ・ 重ね継手の位置及び長さが適正に確保されているか確認する。

### 補強筋等

- ・ 架構詳細図又は仕様書等で開口部補強筋が適正か確認する。また、スリットの位置、形状及び配筋等を確認する。

### その他

### 設備配管等

- ・ C D管等の設備配線管が局所集中したり、主筋に沿って長い距離を接触していないか確認する。

### ガス圧接継手

- ・ 圧接部の形状、継手位置及び隣合う間隔等が適正か確認する。
- ・ 圧接部の強度については、超音波探傷試験又は引張試験成績書等で確認する。

### 特殊鉄筋継手

- ・ 特殊な鉄筋継手については、認定又は評定により承認された工法の施工要領書で確認する。

### 型枠及び既存打設部分状況

- ・ 型枠、支柱の締付け及び清掃状況を確認する。
- ・ 型枠支柱存置期間及びコンクリート打設後の養生が適切に行われているか確認する。
- ・ 施工計画書により、コンクリートの調合及び圧縮強度試験について確認する。